

日吉東小学校4年生の 取り組み紹介



日吉東小学校
4年生担任
上妻昭一先生
堀尾和美先生
緒方 傑 先生

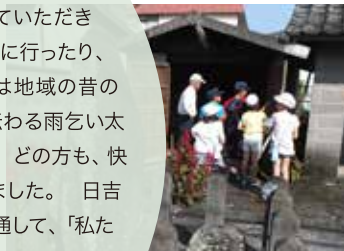
「まち歩き手帖」への応募のきっかけ

日吉東小学校は、地域への愛着や誇りをもてる児童を育てており、四年生の総合的な学習の時間では、“地域の魅力を再発見し、その魅力を受け継いだり、伝えたりする活動”を行っています。今年度もみんなで地域を歩き、様々な魅力を発見してきました。見つけたものをどう表現し、どう発信していくか。この課題にぴったりだったのが、「まち歩き手帖」への応募でした。応募することを通して、まちづくりへ参画する意識を育てられたと同時に、自分たちの「まち」を特別なものとして捉えなおすよい機会となりました。また、市政情報番組での紹介や「まち歩き手帖第3版」への掲載など、私たちのアプローチに対して、区役所からのフィードバックがあったことで、子どもたちもさらに達成感・充実感を得ることができました。区役所と自分たちの「まち」とのつながりを感じる経験から、今後も地域の一員として「まちづくり」に積極的に関わろうとする子どもが育ってくれることを願っています。

平成27年3月



マップをつくるための探検に、学年で、グループで、学級で、3回～4回ほど校区探検をしました。担任の他、熊本大学の田中尚人准教授や学生さん、保護者に引率をしていただきました。中には、休みの日を利用して聞き取りに行ったり、見学に行ったりした児童もいます。見学先では地域の昔の様子に詳しい方にお話を伺いました。地域に伝わる雨乞い太鼓をたたくなどの体験もさせていただきました。どの方も、快く引き受けてくださり、親切に教えていただきました。日吉東小学校の子どもたちは、このような関わりを通して、「私たちはいつも地域の方に見守られ、大事に育てられている」と感じています。また改めてまちを見直すことで、新しい発見がたくさんあり、地域・自分たちのふるさとへの愛着も育っています。



地図や資料を作ったり、発表したりしている写真です。まずは自分たちが歩いた道を、本物の地図で確認しながら、自分たちが描いた地図と照らし合わせました。これまで地図をよむ経験があまりなかったので、子どもたちにとっては難しい作業でしたが、がんばって読み取りました。資料を作る際には、どの写真を使うか、国語で学習したアップとルーズを考えて選んだり、吹き出しや説明を付けたりして、みる人が楽しく、わかりやすいよう、試行錯誤して完成させていきました。チームごとに分かれて調べたことを、学級のみんまで知らせ合い、情報を共有しました。



発表



11月に日吉東小学校で6年生が「東っ子バザー」を開きました。地域の方や保護者の方も来校されたので、できあがったまち歩きマップを展示して、見ていただきました。地域に長く住んでいらっしゃる方から、「自分たちでも知らなかったことがよく調べられていて、とても面白かった。歩いてみたい。」とのコメントをいただきました。

